

【山崎主宰の俳句】

嗚呼

山崎 聰

結界は新樹の森の二つ星
半夏雨たしかなるものなにもなく
北極星北斗七星川開き
六日九日それからの旱星
熱帯夜遠いものから見えはじむ
炎日に翳も七十五歳嗚呼
終戦忌大東京に熱い風
獣骨のごときを踏めり月の夜
これからのひとりひとり実山椒
九月の蚊ここが踏んばりどころなり